

ふくろう便り

(北陸大学図書館報 号外)

VOL.2 : 2018年4月号



図書館の2018（平成30）年1～4月を振り返ってみます。

- 1月 第17回読書感想文コンクール表彰式
ふくろう便り vol.1 発行
- 2月 紀伊国屋書店学術電子図書館「KinoDen」利用開始
- 3月 図書館本館バリアフリー改修工事完了
(正面玄関が自動ドアになりました。入口のスロープに手すりを設置しました。
1Fトイレが男女ともに多目的トイレになりました。)
図書館報 No. 44 発行
- 4月 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始(本館)

この他、3/1・3/2に二次資料、電子ジャーナル講習会を開催しました。(主に薬学部4年次生対象)
この講習会には38名の参加がありました。
当日参加できず、別途講習を希望される方は図書館薬学部分館までご連絡ください。



☆ 図書館委員会日誌 ☆

- 1月23日 第9回図書館委員会 『北陸大学紀要』、図書館における複写について
推薦図書購入 等
- 2月13日 第10回図書館委員会 『北陸大学紀要』、2018年度図書館開館日程、図書等不用判定
推薦図書購入 等
- 3月26日 第11回図書館委員会 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて 等

第17回読書感想文コンクール講評

読書感想文コンクール審査委員長 経済経営学部教授 南谷 直利

(北陸大学図書館報 No.44 の続きです)

III. 「虚心」(先入観のない素直な状態)

応募作品を審査していて、学生の皆さんが「虚心」であって、そうすることが読書するポイントになっているように感じました。何となく、この本を読んだと言う入賞者が多かったようですが、その何となくの状態は「虚心」であるように思います。そして、入賞者の各作品は共通して強烈に描かれており、自己の考えや主張が伝わってきます。「虚心」になると年間何冊読むことができるのか。松本和彦経済経営学部教授は、「自分の身長位。平積みで。」と学生時代に民法の講義で言われた、と教えてくれました。確か、福澤諭吉翁が「国民は、明治政府の官僚・役人と同等量の書物を読まなければいけない」と説いていたように思います。学生の皆さんは直接、松本教授にどの位読書をしたら良いかを聞いてみて下さい。

IV. 「母親・本に出会う・太宰」

審査をしていて、「はなちゃんのみそ汁」の作品に共感しました。乳がんの女性が命をかけて出産し、母親として生きて人生の大切なことを長女や家族に伝えていました。高見明里さんをはじめ誰もが、自らの母親のことを思い出すのではないのでしょうか。私自身の母親(故人、元大阪造幣局職員から酒店経営)は、経済的な理由で大学進学はできませんでした。「自分が勉強したくても、親が進学させてくれなかったから」と言って、私には大学院進学までの学費を払ってくれました。母親に感謝する気持ちは、人生の糧になります。「ホセ・ムヒカから学んだこと」を書いた瀬戸彩乃さんは、常に多種の本を購入しているようです。その中の一冊が同書であり、「本と出会う、自らの感性を問う」のが、本コンクールの意義・目的のように思います。良い本と出会うために、本を買うことや図書館で本を借りる習慣の重要性を再確認しました。前述の2作品の本は共に新書ですが、「人間失格を読んで」の『人間失格』は、昭和から知られている本です。原作者「太宰治」のこの本のストーリーや生涯をみると、病的・難解な事柄が多いように思いますが、私は、太宰は冷静で判断力もあったと思っています。病んでいる人が同書を書くことは、不可能であると感じます。新書を選ぶ傾向の中で、太宰作を選んだ神田七瀬さんに感心しています。

V. 「流石の国際コミュニケーション学部、強い医療保健学部」

最優秀賞の高見明里さんと優秀賞の瀬戸彩乃さんは、共に国際コミュニケーション学部で文学士号の修得を目指している学生です。お二人の文学分野の才能と所属学部の特色背景が理解され、その実力は流石です。また、優秀賞の神田七瀬さんをはじめとする医療保健学部の学生9名(入賞者19名の47%)が入賞し、同学部の読書に対する熱心な活動と意気込み・熱意を強く感じました。

VI. 「正しい言葉遣い」

読書をすると言葉力が高まるように思っています。それは、ポリティカル・コレクトネス(社会的に、正しい言葉遣いを考える)についても同様です。応募作品の中に「障がい者」の表記がありました。国内の法律や規則では「障害者」の表記になっていますが、学生は意図的に「障がい者」としています。これは、人間に「害」の字を使わない考えだと思います。例えば、役所に出生届けを出す際に、赤ちゃんの名前に「害」の字を書くと保留されると推測します。研究論文で「被検者」(subjects)と表記し、「験」の字を使わない例と同じ考えです。人間には検査であって、動物は実験(馬へん)を使い区別する場合があります。学生の皆さんも読書を通して、主体的に正しい言葉遣いを考えてみて下さい。

第17回読書感想文コンクールで最優秀賞、優秀賞を受賞した 3名から次のとおり受賞のコメントをいただきました。

最優秀賞 書名：『はなちゃんのみそ汁』

国際コミュニケーション学部1年次生 高見 明里

この本は以前から家にあった本で、もう一度読んでみようと思い読み返した本でした。不思議なもので初めて読んだ時の私とは年令も変わったせいか感想の視点が変わった事に気が付きました。そう言う意味でも読書は面白いものであると思いました。今回、このような立派な賞を頂き大変驚き、嬉しかったです。ありがとうございました。

優秀賞 書名：『世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカの言葉』

国際コミュニケーション学部1年次生 瀬戸 彩乃

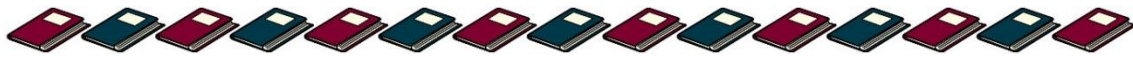
多くの応募があった中で自分が書いた読書感想文が優秀賞に選ばれたことをとても嬉しく思いました。私が読書感想文の題材にした本である『ホセ・ムヒカの言葉』にはホセ・ムヒカ氏がスピーチの際に話した様々な名言が書かれているので、これまでにスピーチを聞いたことがないという人に是非読んでほしいです。今回の受賞式では多くの種類の作品があったため読んでみたいなと思いました。今まで自分が興味なかった本にも挑戦し、新たな発見や知識、価値観を身につけていきたいです。

優秀賞 書名：『人間失格』

医療保健学部1年次生 神田 七瀬

今回、優秀賞という素晴らしい賞をいただけてとてもうれしく思うと同時に、選んでくださったことに深く感謝しています。読書感想文で賞をとったことは今までなかったので、受賞した話を聞いたときはかなり驚きました。

「人間失格」という作品はひたすら暗い話だと聞いていたので読むのを今まで躊躇^{ためら}っていましたが、読んでみると案外共感できる部分もあって興味深い作品でした。ぜひ、皆さんにも一度読んでもらいたい作品です。



第9回～第10回の図書館委員会で選定された推薦図書は合計225冊です。

推薦図書は、教員の皆さんが主に学生の皆さんに利用してほしい本・DVD・電子ブック等を推薦し、図書館委員会で選定するものです。

学生の皆さんは、図書館で購入してほしい本等がある場合、先生に依頼するか、リクエストを申し込んでください。

学生リクエストで購入した本は次のとおりです（11月～3月分）

★ 薬学部生 ★

空飛ぶ馬 北村薫

★ 医療保健学部生 ★

病気がみえるvol.2 循環器 医療情報科学研究所
医学系のための生化学 石崎泰樹
2025年へのカウントダウン 武藤正樹

★ 未来創造学部生 ★

2084世界の終わり ブアラム・サンサル
民族とナショナリズム アーネスト・ゲルマー
超監視社会 私たちのデータはどこまでみられているか ブルース・シュナイアー
服従 ミシェル・ウェルベック
共産主義黒書<アジア篇> ステファヌ・クルトワ、ニコラ・ヴェルト

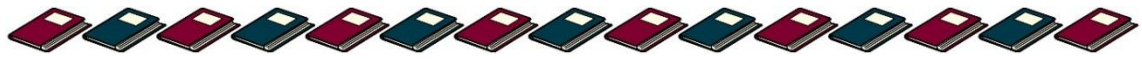
学生リクエストについてのお問い合わせ・お申し込みはお気軽にどうぞ。

図書館資料の複写について

本学図書館に所蔵する資料(書籍、雑誌、新聞など)の複写については、著作権法第31条の範囲内で認められています。

- 調査研究目的
- 著作物の一部分のみ
- 1人につき1部のみ

本学図書館所蔵資料を複写する場合は、文献複写申し込み台帳にご記入願います。



平成 29 年度下半期(10 月～3 月)の図書館利用者は次のとおりです

| | 本館 | 薬学部分館 | 合計 | |
|-----------|--------|--------|--------|-----|
| 入館者数 | 19,577 | 30,695 | 50,272 | (人) |
| 貸出冊数 | 1,948 | 1,042 | 2,990 | (冊) |
| 学外利用者貸出冊数 | 288 | 0 | 288 | (冊) |

(注) 薬学部分館の入館者は概算です。

● 入館者数内訳

| | | 本館 | 薬学部分館 | 合計 |
|------|---------------|--------|--------|--------|
| 学生 | 薬学部 | 2,900 | 29,594 | 32,494 |
| | 未来創造学部 | 10,916 | 1 | 10,917 |
| | 経済経営学部 | 1,206 | | 1,206 |
| | 国際コミュニケーション学部 | 446 | | 446 |
| | 医療保健学部 | 233 | 100 | 333 |
| | 留学生別科 | 1,830 | | 1,830 |
| 教員 | | 270 | 500 | 770 |
| 一般職員 | | 644 | 200 | 844 |
| その他 | | 1,132 | 300 | 1,432 |
| 合計 | | 19,577 | 30,695 | 50,272 |

● 貸出冊数内訳

| | | 本館 | 薬学部分館 | 合計 |
|------|---------------|-------|-------|-------|
| 学生 | 薬学部 | 117 | 956 | 1,073 |
| | 未来創造学部 | 950 | 1 | 951 |
| | 経済経営学部 | 48 | | 48 |
| | 国際コミュニケーション学部 | 60 | | 60 |
| | 医療保健学部 | 64 | 2 | 66 |
| | 留学生別科 | 145 | | 145 |
| 教員 | | 107 | 17 | 124 |
| 一般職員 | | 169 | 66 | 235 |
| その他 | | 288 | 0 | 288 |
| 合計 | | 1,948 | 1,042 | 2,990 |

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始

4月から、図書館本館で開始しました。このサービスは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等理由で入手困難な資料約200万点のデジタル画像の閲覧と複写ができるサービスです。

・利用できる方

本学の学生、教職員、図書館に利用登録した学外利用者の方

・利用できる資料

「国立国会図書館デジタルコレクション」収録資料のうち「国立国会図書館 / 図書館送信限定マーク」のある資料

・利用場所

北陸大学図書館本館 1F（閲覧用端末 1台）

・利用時間

平日 9:00～17:00（複写受付は16:00まで）

利用時間は1人1時間までとします。ただし、次の利用者がいない場合は延長できます。

・複写料金

モノクロ 1コマ10円 / カラー 1コマ30円

（複写は図書館職員が行います。複写資料は翌日以降にお渡しします。）

※閲覧の際は、学生証またはライブラリーカードを提示し、閲覧申込書に記入してください。



お知らせ

◆ 図書館・売店で読書スタンプカードを発行しています。

スタンプは売店で本(教科書・雑誌除く)を購入したり、図書館主催の読書・映画コメントや読書感想文コンクールに応募するとたまります。スタンプをためて食券や図書カードをもらいましょう。

◆ 読書・映画コメントに応募しましょう。

自分の好きな本を読んで、または図書館にある映画のDVDやビデオを観てコメントを書き、他の学生さんに紹介してみましょ。審査の上、月間優秀賞・年間最優秀賞・特別賞等の表彰をします。気軽に応募してみてください。応募用紙は図書館受付にあります。

◆ 第18回読書感想文コンクールを開催予定です。

今年もたくさんのご応募、お待ちしております。詳細が決まり次第、ポスターやHPでお知らせします。



ふくろう便り VOL. 2(不定期刊行)

平成30年4月30日発行

編集・発行：北陸大学図書館 〒920-1180 金沢市太陽が丘1-1 TEL. 076-229-3021 FAX 076-229-4850

Eメール：tlib@hokuriku-u.ac.jp 北陸大学図書館ホームページ <http://www.hokuriku-u.ac.jp/about/campus/library/>